

せせらぎ通信

7月は河川愛護月間です

平成23年6月15日
【第14号】

発行
国土交通省東北地方整備局
秋田河川国道事務所
子吉川出張所

重要水防箇所の合同巡視を行いました

本格的な洪水期を前にして、6月1日に重要水防箇所の合同巡視を行いました。重要水防箇所とは、堤防が低い箇所や過去に被害があった箇所など洪水時に特に注意を要する箇所のことで、この日は、国土交通省、秋田県、由利本荘市及び実際に水防活動にあたる由利本荘市消防団などから23名が参加しました。

参加者達は、子吉川防災ステーションにて水防に関する意見交換を行った後、現地を巡視して洪水への備えを確認しました。



意見交換の様子



出張所職員による説明



巡視中の様子

あれは何？

「洪水流量観測施設」が完成しました！

由利本荘市二十六木（とどろき）地区の二十六木橋は子吉川における治水基準点になっており、昭和47年2月から洪水時に流量の観測を行っています。この観測方法は、橋の上から「浮子（ふし）」とよばれる棒状のものを投下し、その流速を計測し求めます。

観測は、これまで二十六木橋で行ってききましたが、今年3月に老朽化し撤去されたため流量観測が出来なくなりました。そこで、国土交通省では新たな浮子投下方法を計画し、5月に完成しました。両岸に設置した高さ10mの鉄塔に張ったワイヤーに浮子投下装置を取り付け、目的地点で投下させるようリモコンで操作します。全国的にも規模の大きい洪水流量観測施設が完成しました。



施設の全景



由利橋下部工工事の報告です

由利橋の架け替えは由利本荘市の事業ですが、石脇側の橋台の施工は、子吉川堤防の開削がともなうため、子吉川出張所の監督のもと工事が行われています。東日本大震災の影響で燃料や資材の入手が出来なくなり、やむを得ず一時工事中止をしましたが、その後、橋台を支える長尺の基礎杭は4月末に施工を終え、現在は9月末の完成を目指して鉄筋コンクリートの橋台を施工中です。

工事場所付近の通行にはご不便をおかけしておりますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



橋台を施工中



橋台の基礎杭頭部



完成イメージ

子吉川の堤防除草作業がスタートしました！

河川の堤防は洪水から皆様の生命や財産を守る重要な河川管理施設です。洪水や降雨による浸食を防ぐため植生で法面を覆っていますが、草丈の高い植物が繁茂している場合は堤防表面の異常を早期に発見することが出来ません。そこで、子吉川出張所では堤防機能が十分に発揮できるよう、年2回の堤防除草を実施し維持管理を行っています。子吉川堤防除草の第1回目は、6月初めから開始し概ね1ヶ月間で終了する予定です。



子吉川イベント情報



- ◆7月16日（土） 第16回子吉川フェア 【アクアパル】
子吉川いかだ下り大会 【日浴道子吉川橋～飛鳥大橋】
- ◆7月30日（土） 本荘川まつり花火大会 【アクアパル】

◎ご意見・問い合わせ先
由利本荘市石脇字田尻29
子吉川出張所 『せせらぎ通信』担当
電話 0184-22-6360
HP <http://www.thr.mlit.go.jp/akita/>